

RYOBI

®

水中ポンプ。

RSP-51

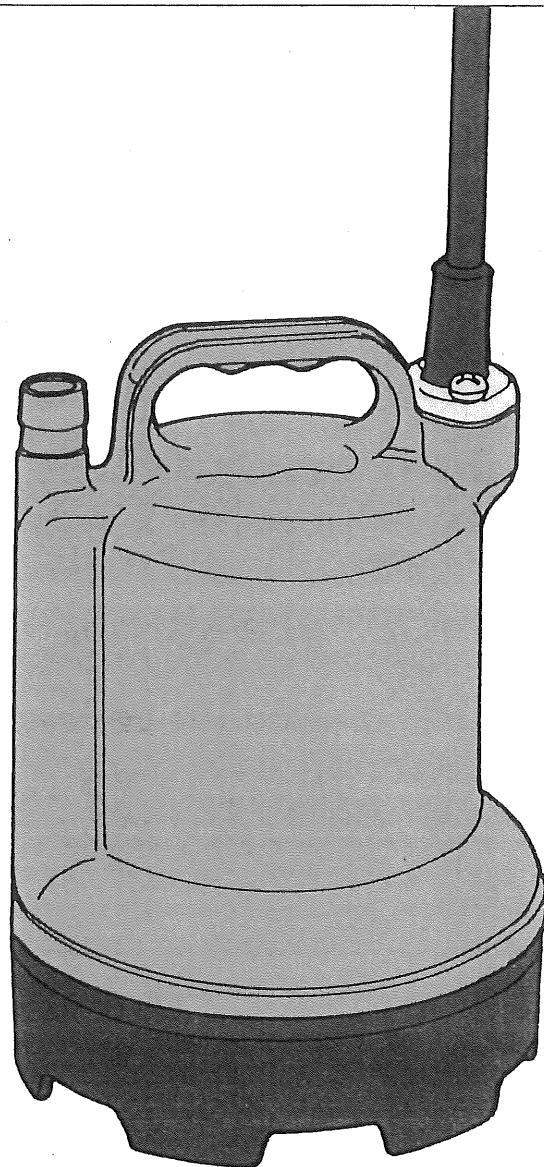
取扱説明書

このたびは、リョービ水中ポンプをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管いただき、わからないときは、再度お読みください。

**Panta
mini**

漏電保護プラグ付



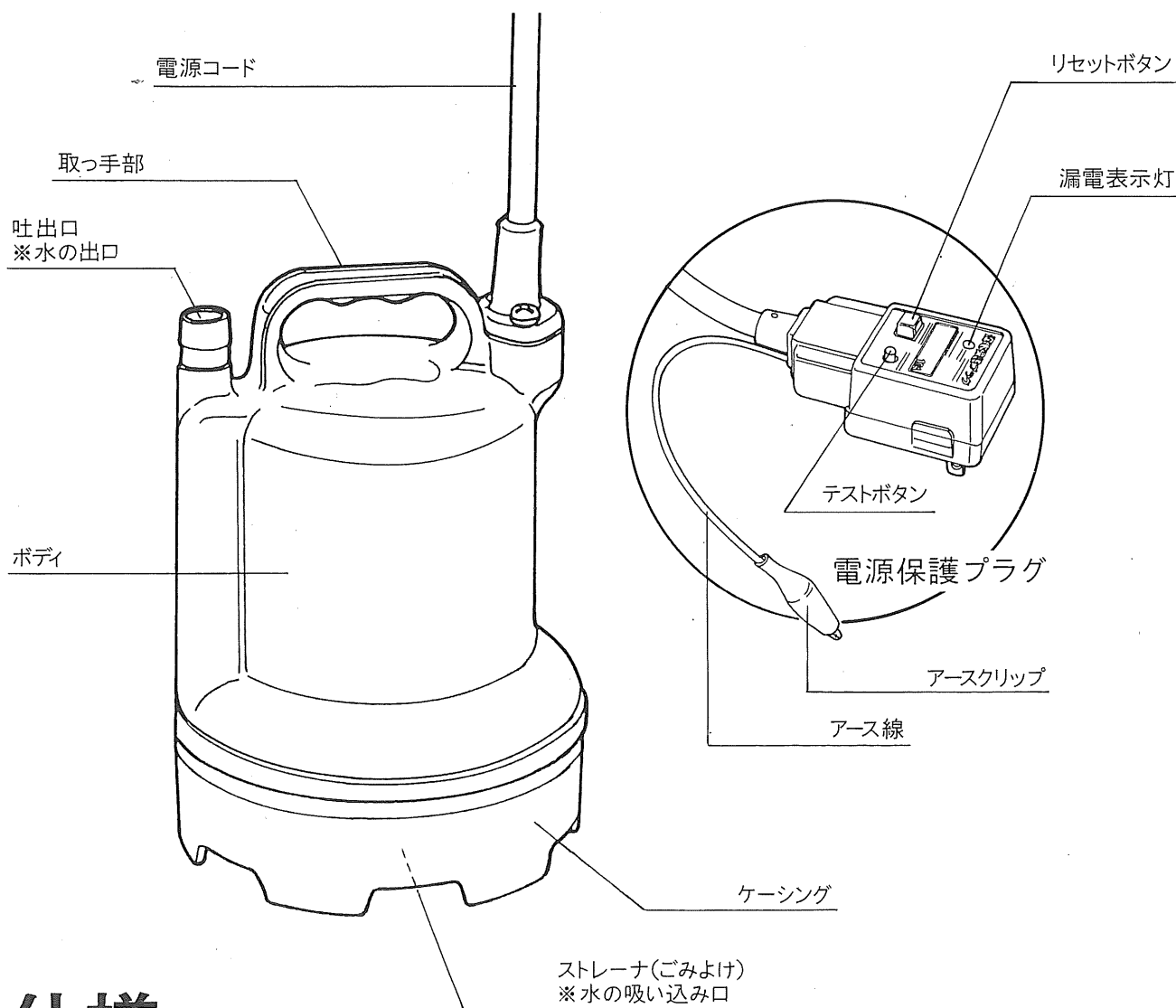
●改良のため、お断りなく仕様、外観を変更することがあります。

安全にご使用いただくために

ご使用の前には、この取扱説明書を最後までよくお読みいただき、十分ご理解された上で正しくご使用くださるようお願いいたします。
また、指定された以外の用途にはお使いにならないでください。

- ポンプには、ご利用いただいている地域の電気の周波数に合わせて50Hz用と60Hz用の2種類があります。
お求めのポンプが、ご使用になる地域の周波数に合っているか必ずお確かめください。
また、輸送中の破損などがないかもお確かめください。
※静岡県、長野県、新潟県の周波数混在地区でご使用になるお客さまは、ご注意ください。
- ご利用いただく前に、電源コードのプラグを電源のコンセントに接続し、異常の有無をお確かめください。
(気中運転は5秒以内としてください)
- 運転に先立ち電源コード、プラグ先端の緑線(アース線)をアースクリップをつかい接地してください。
また、漏電保護プラグの作動も正常に働くかどうか、ご確認ください。
- 漏電保護プラグのテストボタンをスイッチがわりに使用しないでください。
- 作業の都合で電源コードを延長して作業をするときは、お求めになったポンプに付いているものと同じ太さのものか、それより太いものをご使用ください。
(本線と延長線との接続部でテスターなどにて計ってください。)
(この場合、定格電圧の±10%以内にてご使用ください。)
また、接続部は絶対に水中につけないでください。
- ポンプに接続したホースの先端の吐出口は、水面より上に持ち上げるか水面より離すようにしてください。
または逆止弁を取付けてください。
ホースの先端が水面下に入ったままですと、ポンプが停止した時にサイフォンの作用で逆流することがあります。
- ポンプの移動や据付けには、必ず取っ手部を持つか、取っ手部にロープを結びつけてご使用ください。
電源コードを持ってポンプを吊り下げるとは絶対にしないでください。
- ポンプを空運転させないでください。(気中運転は5秒以内としてください。)
- 浴槽や水槽、池などの水の溜めてある所に人が入っている時には、絶対にポンプを入れしないでください。
- ポンプの外部ボディやケーシングは樹脂でできています。
たいたり、落としたりしないでください。また、火気などにも近付けないでください。
- 高温水(40℃以上)や、水以外の溶剤、薬品及び海水などには使用しないでください。

各部のなまえ



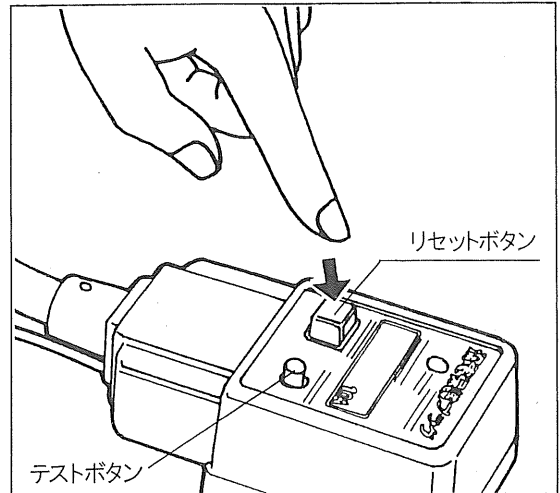
仕様

呼び径	15mm
全揚程	最高4m
吐出量	最大 35 l/min
電源	A C 100 V
出力	50W
消費電力	(50Hz) 91W/(60Hz) 102W
電源コード	3.5m (漏電保護プラグ付)
機体寸法	幅138×奥行138×高さ195mm (電源コードを除く)
重量	2.8 kg

ポンプの運転

■漏電保護プラグのテスト

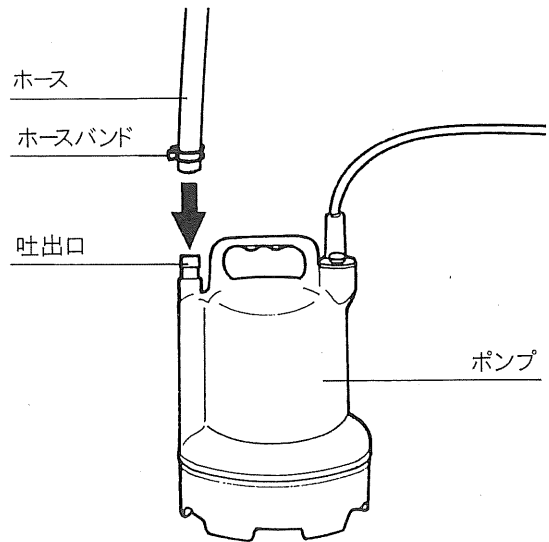
- 漏電保護プラグのリセットボタンを押して正常の状態にします。
- 漏電保護プラグをご利用になる電源コンセントに差し込み、接続します。
- ポンプのモーター音が聞こえたら、すぐにテストボタンを押してください。
漏電表示灯が点灯し、通電が遮断されます。
- 漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、リセットボタンを押して正常の状態に戻しておきます。
- 万一漏電している場合には、漏電保護プラグを電源コンセントに差し込んだときに漏電表示灯が点灯し、漏電状態を警告します。



また、この場合には通電も行われませんし、リセットボタンを操作しても、すぐに通電は遮断され、漏電表示灯が点灯します。

■ホースの接続と運転

- 市販の呼び径15mmのホースを、ご利用になる長さだけ用意してください。
- 吐出口に用意したホースを差し込み、ポンプに接続します。
このときホースの抜け防止のため、市販のホースバンドにて固定されることをおすすめします。



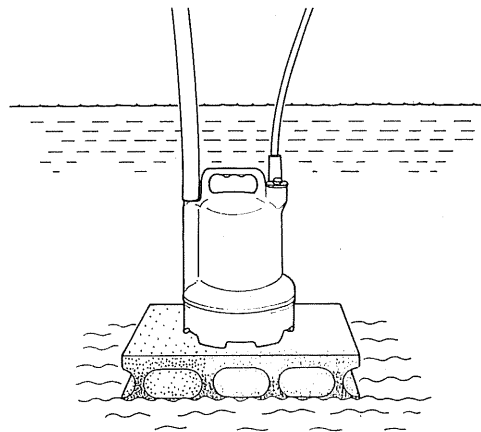
ワンポイント

- ホースの反対側の出口(先端)の位置にご注意ください。
ホースの出口が吸水源の水面より高いときは、ポンプの運転を停止したときにポンプの側にホース内の水が逆流することがあります。
ホースの出口が吸水源の水面より低いときは、ポンプの運転を停止しても、サイフォンの作用で水の流れが停止しないことがあります。
また、ホースの先端が水面下に入っているときは、同じようにサイフォンの作用で、吸水源の水面位置とホース先の水面の位置が、同じ高さになるうとして水が低い方へ流れだします。
これらの動きを避けたいときは、市販の逆止弁をホースに取付けてください。

- ポンプを吸水源に垂直に、完全に沈めてください。
このとき、転倒することがありますので十分ご注意ください。
また、使用中(運転中)はホース内部の水の重みでポンプの位置が不安定になることがありますので、時々点検してください。

〈ご注意〉

- ポンプを入れる所の底が、泥やヘドロ及び軟弱な土砂地の場合は、ポンプを直接底へ付けず、ポンプの下にブロックや丸太などを敷いて、ポンプを底から離して据えつけてください。
このような場所で、底に直接据えつけて運転しますと、ポンプが沈下するだけでなく、ポンプ内やホースに揚排物が詰まり運転ができなくなったり、モーター焼けの原因になることもあります。



- 電源コードの漏電保護プラグを電源コンセントに差し込めば、ただちに揚水(運転)を開始します。

●お断り

池の水の循環(長時間の運転)には使用しないでください。

〈ご注意〉

- このポンプにはモーターの焼損防止装置として自動復帰式の保護装置(サーマルプロテクタ)がついています。
保護装置が働いてポンプが停止しているときでも、電気はポンプまで通電していますので、必ず電源を切ってから点検を行って、過負荷の原因を取り除いてから再運転に入ってください。

保守と点検

- ポンプをご利用になったあとは、ホースを取り外し、ポンプ内の水を出してください。
- ポンプの汚れは、ウエスなどで拭き取るか、洗剤をうすめた水で拭き取るかしてください。
特に電源コードについては、点検をかねて、いつもきれいな状態を保つように心掛けてください。
- ポンプや電源コードに傷など損傷があるときは、お買い求めの販売店もしくは最寄りのリョービパワーツール取扱販売店、またはリョービ販売営業所まで点検、修理をお申しつけください。(有償修理)
ポンプ内部や電源コードは密閉構造となっていますので、絶対に分解などはしないでください。

故障とお考えになる前に

(故障内容)	(原因)	(対策)
ポンプが回らない	停電している	電気工事店または電力会社に連絡する
	電圧が低下している	
	電源回路の接続不良	修理に出す
	内部ヒューズが溶断している	修理に出す
	漏電表示灯が点灯している	リセットボタンを押しても、再点灯する場合は、修理に出す。
	羽根車に異物のかみこみ	修理に出す
ポンプが運転中に停止する (保護装置が働く)	空気を吸い込んでいる	水位を上げるか、もっと深く沈める
	水温が高い	水温を下げる
	電圧が低下している	配線を太く、短くする
	50Hz用ポンプを60Hzで使用している	銘板を調べる
	羽根車に異物のかみこみ	異物を取り除くか修理に出す
吐出量が少ない	ストレーナにゴミが付着	ゴミを除去する
	吐出管閉塞	ホースの曲がりを少なくする
	羽根車磨耗	修理に出して部品交換
	ポンプ内のつまり	修理に出して分解清掃
	空気を吸い込んでいる	水位を上げる

※その他、取扱いに際してご不明な点は、ご遠慮なくお買い求めの販売店もしくは最寄りのリョービパワーツール取扱い販売店、またはリョービ販売営業所までお気軽にお問い合わせください。

発売元



リョービ販売 株式会社



リョービ 株式会社